

1. 太平洋 2. 日本海 3. 東シナ海 4. オホーツク海

1. スポーツ庁 2. 観光庁 3. 消費者庁 4. 文化庁

1. 色丹島 2. 国後島 3. 与那国島 4. 択捉島

1. 標高の高いC地点から徐々に標高が下がり、途中で緩やかな傾斜地を経て、最も標高の低い湖面に達する形状

2. C地点から一度標高が大きく下がるが、湖岸であるD地点に近づくにつれて再び標高が上がり山頂と同じ高さになる形状

3. 標高の高いC地点からさらに標高が上がる地点を経由し、その後、崖のような急斜面となって湖面に達する形状

4. C地点からD地点まで標高の変化がほとんど見られず、全域が平坦な土地として湖面に続く形状

1. 他国の船舶がこの海域を航行することを一切禁止することができる。
2. 領海と全く同じ扱いになるため、他国の活動は一切認められない。
3. この海域の上空を他国の航空機が通過することを全面的に制限できる。
4. 水産資源の確保や海底の鉱物資源の開発を独占的に行うことができる。

1. 日本の領土の最北端は択捉島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。

2. 日本の領土の最北端は択捉島であり、その周辺を太平洋に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）である。

3. 日本の領土の最北端は国後島であり、その周辺を太平洋に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）である。

4. 日本の領土の最北端は国後島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。

1. 本初子午線 2. 日本標準時子午線 3. 北回歸線 4. 日付変更線

1. 経済的なつながりが強いので、アフリカの滞在者数はオセアニアよりも多い。
2. 政府関係者の割合が非常に高いので、北アメリカの滞在者数がアジアを上回っている。
3. 総数が最も多い地域はアジアであり、次いで北アメリカの人数が多い。
4. 留学生や民間企業関係者が急増したため、南アメリカの滞在者数が世界で最も多い。

1. 小笠原諸島 2. 竹島 3. 尖閣諸島 4. 北方領土

1. 択捉島 2. 色丹島 3. 歯舞群島 4. 国後島

1. 東京都 2. 北海道 3. 大阪府 4. 鹿児島県

1. 人口規模に応じて自動的に指定されるため、市長の選任方法が他の市とは異なり、内閣が直接任命する仕組みになっている。
2. 中核市と比較して権限が限定されており、道路整備や河川管理に関する決定権はすべて国や都道府県が保持する。
3. 行政運営の効率化のために市の下に「区（行政区）」を設置することが義務付けられており、都道府県から多くの権限が委譲されている。
4. 都道府県から完全に独立した自治体となるため、その都市の住民は都道府県知事選挙の投票権を持たない。

1. 1km²あたり3,000人未満の区分 2. 1km²あたり10,000人以上の区分 3. 1km²あたり3,000人以上5,000人未満の区分 4. 1km²あたり5,000人以上10,000人未満の区分

1. 北海道の北東に位置する国後島や歯舞群島とともに、ロシアによる不法占拠が続いている。
2. 日本と韓国間の水域に位置し、韓国が一方向的に領有権を主張して警備隊を常駐させている。
3. 小笠原諸島に含まれる孤島であり、満潮時に海に沈まないようコンクリートで周囲を保護している。
4. 日本と中国間の東シナ海に位置し、現在は日本が有効に支配しているが領有権をめぐる主張の対立がある。